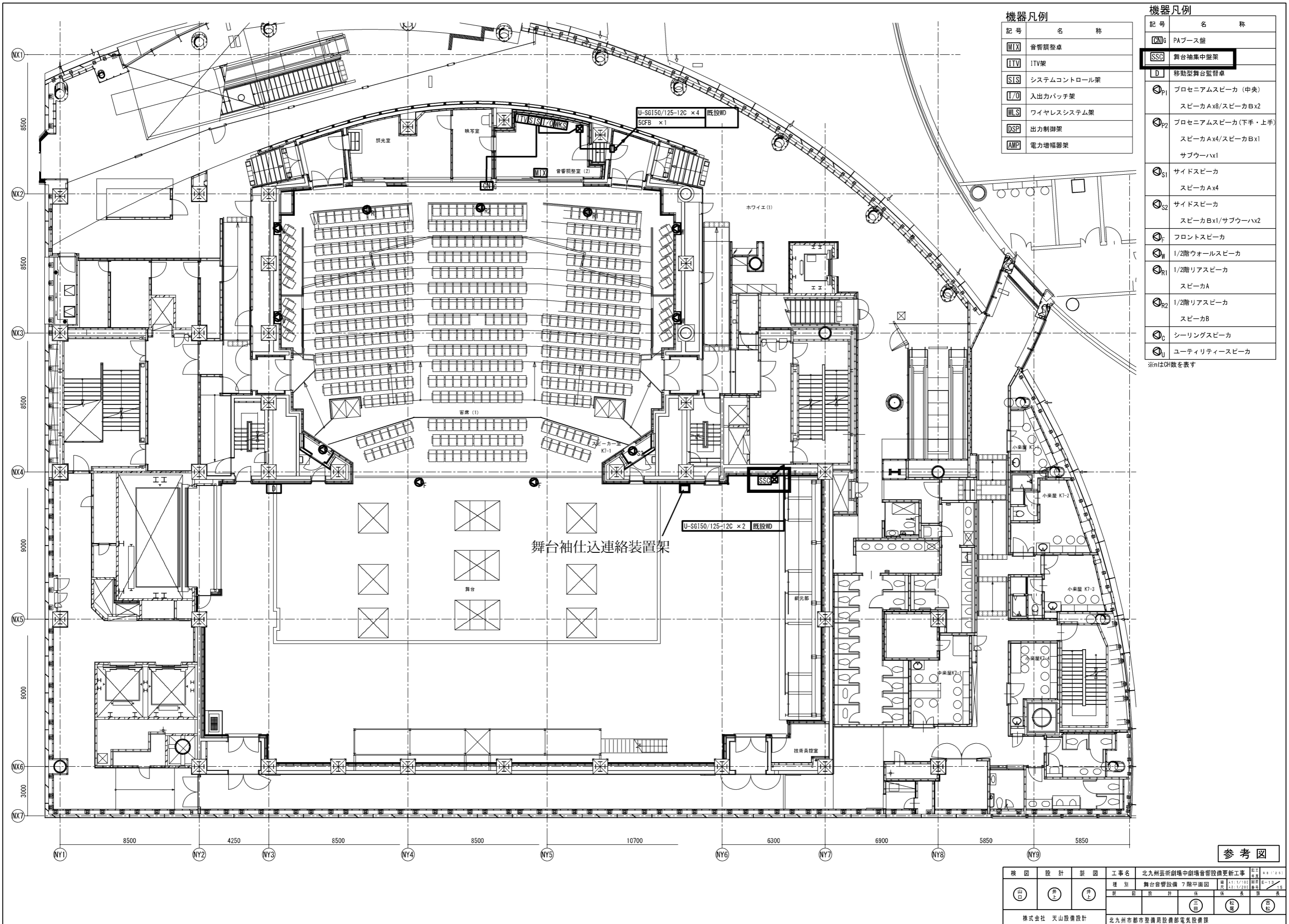


回答書

工事名：北九州芸術劇場中劇場音響設備更新工事

番号	図番	質 疑 内 容	回 答 内 容
1	—	「4. 出力制御架 10) ネットワーク監視サーバー」や「8. 舞台袖集中盤架 7) ネットワーク監視クライアント」等の役割と監視対象機器の監視項目を教えてください。	<p>「4. 出力制御架 10) ネットワーク監視サーバー」、「8. 舞台袖集中盤架 7) ネットワーク監視クライアント」、「8. 舞台袖集中盤架 11) ネットワーク監視モニター」で監視対象機器の状態をタイムリーな一元的な把握を目的に各監視対象機器からの情報を集約しモニターで可視化するシステムを構築することです。</p> <p>監視可能な対象機器で代表的な監視項目は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク機器（死活監視、通信帯域監視） ・電源制御部（死活監視、ブレーカーのON/OFF状態、電圧、電流、電力、湿度、温度） ・スピーカー出力制御部（死活監視、リレーのON/OFF状態） ・メーターシステム（死活監視、メーターのクリップ、ピーク値のログ）
2	E-06	「舞台音響設備 システム系統図（1）」について、ACコンセントプレート（図面右中央付近）の「電源制御部より」と記載されている配線は、どの電源制御部からの配線を想定されているでしょうか。併せて、線種および配線距離についてご教示いただけますでしょうか。	当該「電源制御部より」は5入出力パッチ架 22) 電源制御部を指します。線種はCEE3. 5sq 3Cを想定しております。配線距離は15m程度を想定しております。
3	E-08	「舞台音響設備 システム系統図（3）」について、舞台袖仕込連絡装置架の現在の設置場所をご教示いただけますでしょうか。併せて、舞台袖集中盤架 No. 1、No. 2までの配線距離についてもご教示いただけますでしょうか。	舞台袖仕込連絡装置架の設置場所を別紙図面 1 に図示いたしました。舞台袖集中盤架はNo. 1、No. 2ともに別紙図面 1 の箇所がございます。配線距離は10m程度を想定しております。
4	—	既設のシステム構成図や配線図（平面図及び立面図）をご提供いただくことは可能でしょうか。	契約後に提供可能です。

番号	図番	質疑内容	回答内容
5	—	7階、8階、9階の階高が分かる図面、もしくは高さ情報をご教示いただけますでしょうか。	別紙図面2の通りです。
6	—	ケーブルの仕様および設計数量をご教示いただけますでしょうか。	ケーブルの仕様は設計図面をご確認のうえ、システムに応じた適切な線種を選定していただくように考えております。なお、専門工事のため、一式見積であり、数量は一式で計上しております。
7	—	現場調査の結果、足場等の仮設設備が必要となった場合は、設計変更の対象と考えてよろしいでしょうか。	足場については、現地見積にて今回不要であることを確認済みです。その他の仮設設備は監督員と協議のうえ、必要であれば変更の対象となります。
8	—	機器、材料の価格が契約後に高騰した場合、設計変更の対象と考えてよろしいでしょうか。	対象となりますが、監督員と協議のうえ決定いたします。
9	—	中東情勢等の外的要因による装置製作する上で部品・部材の確保が困難となった場合は、工期変更契約対象となると考えてよろしいでしょうか。	中東情勢等の外的要因に関わらず、あらかじめ定められた休館期間中での作業となるため、原則工期延期の対象とはなりません。
10	—	配管は全て既設流用と考えてよろしいでしょうか。また、新規に配管が必要となった場合、設計変更の対象と考えてよろしいでしょうか。	配管は全て既設流用です。新規に配管が必要となった場合は監督員及び施設管理者と協議のうえルートを検討し、設計変更の対象とします。
11	—	「もぎりアッテネータ」向けの配線について、図面番号E-06「舞台音響設備 システム系統図(1)」では実線、図面番号E-07「舞台音響設備 システム系統図(2)」では点線となっておりますが、配線は必要でしょうか。配線が必要な場合、ケーブルの仕様とアッテネータの設置場所をご教示いただけますでしょうか。	配線は既設流用です。 図面番号E-07「舞台音響設備 システム系統図(2)」が正です。 アッテネータの設置場所は別紙図面3の通りです。



機器凡例

記号	名称
MTX	音響調整卓
ITV	ITV架
SIS	システムコントロール架
I/O	入出力パッチ架
WLS	ワイヤレスシステム架
DSP	出力制御架
AMP	電力増幅器架

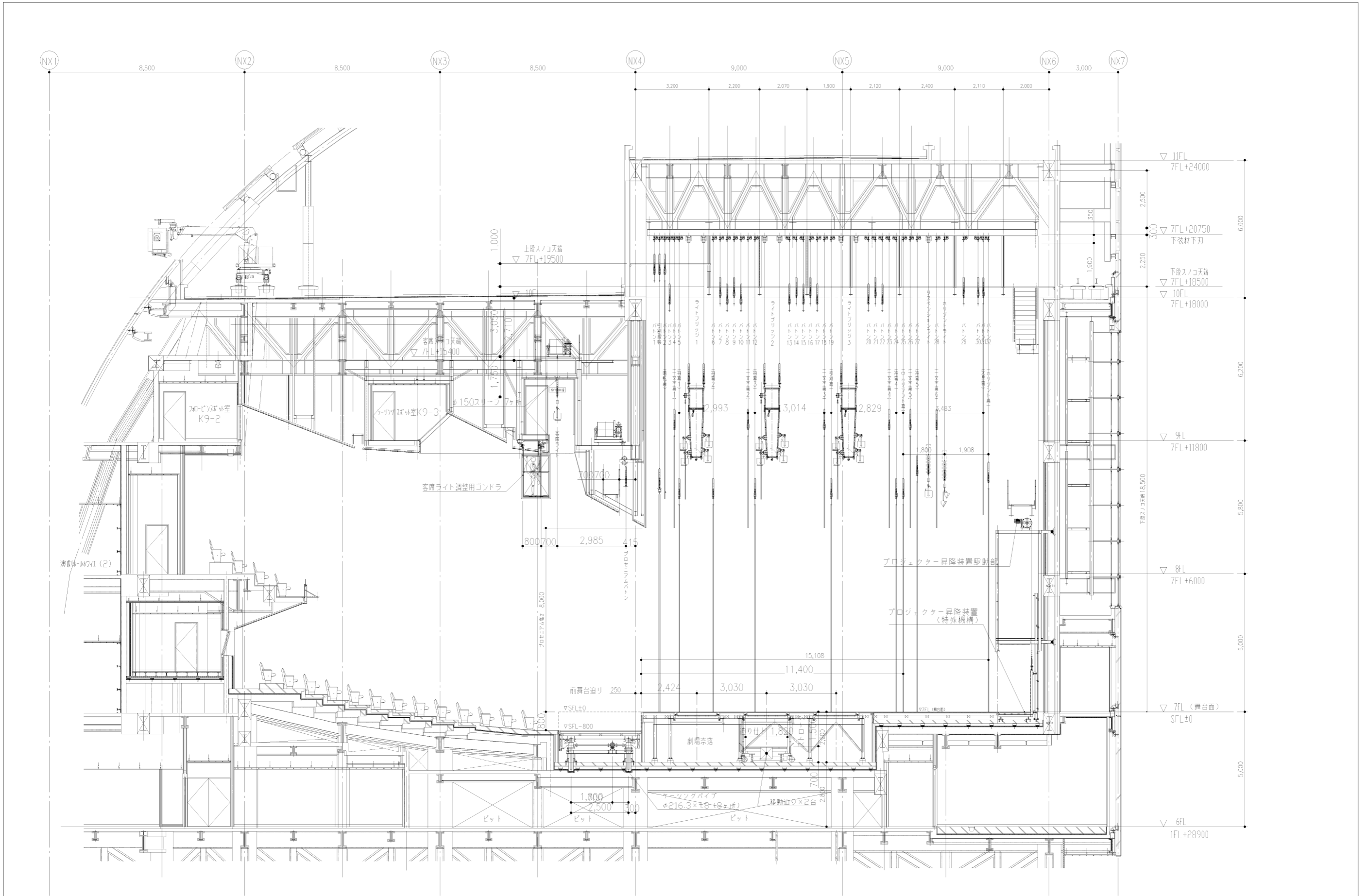
機器凡例

記号	名称
PA	PAブース壁
SSC	舞台袖集中盤架
D	移動型舞台監督卓
⊙P1	プロセニアムスピーカ (中央) スピーカA x8/スピーカB x2
⊙P2	プロセニアムスピーカ (下手・上手) スピーカA x4/スピーカB x1 サブウーハ x1
⊙S1	サイドスピーカ スピーカA x4
⊙S2	サイドスピーカ スピーカB x1/サブウーハ x2
⊙F	フロントスピーカ
⊙W	1/2階ウォールスピーカ
⊙R1	1/2階リアスピーカ スピーカA
⊙R2	1/2階リアスピーカ スピーカB
⊙C	シーリングスピーカ
⊙U	ユーティリティスピーカ

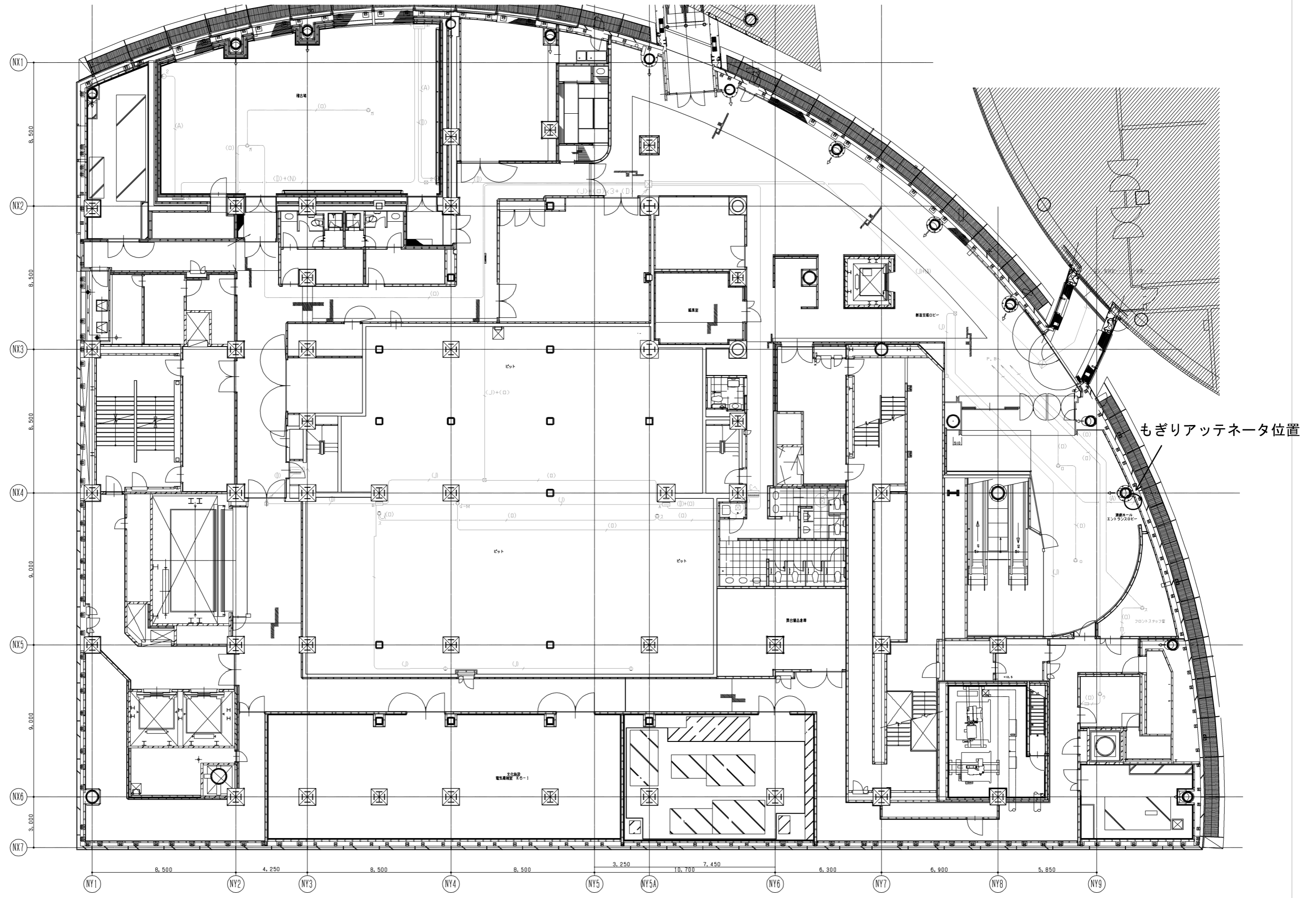
※nはOH数を表す

参考図

検 図	設 計	製 図	工 事 名	北九州芸術劇場中劇場音響設備更新工事
山 口	井 上	井 上	種 別	舞台音響設備 7階平面図
株式会社 天山設備設計	北九州市都市整備局設備部電気設備課			



検 図	設 計	製 図	工 事 名	北九州芸術劇場中劇場操作盤等修繕工事	竣工 年度	04 (24)
出	井	井	種 別	舞台機械設備 断面図	層 数	1/15 1-02 14
			製 図 者	係 長	製 図 者	係 長
株式会社 天山設備設計			北九州市都市整備局設備部電気設備課			



6階平面図 1/100